

学校統合を考える

◇第2回意見交換会の概要◇

町教育委員会は、7月からの説明会に続き、9月18日から10月8日まで、汐見と獅子島を除く8小学校区で、未就学児を含む保護者を対象とした意見交換会を開催しました。会では、出席し

た実際に子どもを持つ保護者から、統合・再編について以下のとおり、さまざまな意見が出されました。

○が推進意見、□が統合を見据えた意見・要望、▽が見直しを求める意見です。

【鷹巣会場】

9月18日 参加者38名

▽鷹巣中学校を残した統合・再編を理想としており、長島高校跡地に中学校を統合という考えでの質問は想定できない。今後、この答申が覆ることがあるのか。

(教育長) 長島町立小中学校等統廃合推進委員会から答申をいただいております。答申に沿って進めていきたい。

▽鷹巣地区は徒歩通学と聞いたが、長島高校跡地からの下校時は暗く、危険を伴うので、市街地である鷹巣地区に統合してほしい。

(教育長) 統合・再編を進める上で、同じ条件で通学させたいと思っており、中学校を長島高校跡地に設置した場合は、鷹巣校区の子どもたちもスクールバスを利用してほしい。

▽長島高校跡地は高校生には良い場所だと思いが、小学校を卒業したばかりの中学生が通うには、安全面で不安がある。スクールガードは登下校だけでなく、一日中、学校に在るのか。

(教育長) 安全確保はスクールガードを設置し、登下校だけでなく授業中は校内の巡回もお願いしたい。教職員の増により、

空き時間の先生が校内の巡回を行うこともできる。

▽現在、長島に高校は無く、若い人の多くが町外に出ての生活を選んでいる。さらにその子どもたちも町外の小中学校に通わせる想定する。将来を見据えた学校の立地を考え、鷹巣中学校に統合・再編を行ってほしい。

(教育長) 鷹巣中学校を増設して統合という場合、学校が非常に手狭となるため、敷地の拡充も必要になる。ゆったりとした敷地で、子どもたちも思い切り活動ができる長島高校跡地で、一体感を育てたい。

○地域住民にとって学校は大事であることは良く分かるが、やはり子どもの教育を考え、多くの機会を子どもたちに与えてほしい。

【川床会場】

9月19日 参加者15名

▽長期的に1校に統合しても人数は減っていく。中学校は旧両町に1校ずつ配置し、推移を見たら上で1校に統合していくのが良い。鷹巣中学校、長島中学校とも新しい校舎があるので、それぞれを増築しても必要経費は変わらない。

(教育長) 鷹巣中学校の管理棟

は築36年で、やがて改修が必要になる。教員配置は学級数で決まるため、旧長島町での統合では現在と変わらず、免許教科外教科担任の解消もできない。他会場でも小学校1校という時代が来るという意見も出たが、長島高校跡地であれば将来、小中一貫校として十分活用できる。

▽統合については賛成であるが、長島高校跡地は、現状では暗くうっそうとしており、親としても不安である。

(教育長) このままの状態での利用ではなく、しっかりと整備を行い、環境を整えていきたい。

○長島の子どもたちは人数が少なく、高校生になったときに生徒数の多さに驚き、ついていけなくなったという話を聞くので、人数が多い方が好ましい。

○長島高校跡地を活用し、広い場所でのびのびと教育を行ってほしい。中1ギャップ、高1ギャップなどあるが、多くの児童生徒がいる環境で学び、社会に出る一歩手前の学校生活で、引け目を感じることなく進んでほしい。

□スクールバスは料金が発生するののか。

(教育長) 保護者の負担軽減という考えから、無料で運行したい。

□閉校となれば、教員は全員異動するののか。子どもたちにとって、今の先生には心を開いて話せたという部分もあり、全ての先生が変わってしまうと不安である。

(教育長) 学校勤務は標準年数が決められているが、標準年数と照らしながら、子どもたちが寂しい思いをしないよう教職員の異動は配慮したい。

□高校への推薦入学は、統合前の学校の実績が残るののか。

(教育長) 決して前の学校の実績が消えることはなく、小学校6年間、中学校3年間は続いていく。すべての過程での判断となる。

□長島高校を道路から見たことしかなく、イメージを膨らませるために拡大された写真などがあれば、分かりやすい。

(教育長) 広報長島10月号を参照いただきたい。

【田尻会場】

9月24日 参加者25名

【伊唐会場】

9月25日 参加者13名